

1. 物質および調合の名称

- 1.1 物質の名称等および調合
商取引上の名称 K-FLEX ST、ECO、solarHTのチューブ、シート、テープ
また上記の粘着付き製品、アルミ系外層付き、色付き製品
- 調合の用途 断熱材
製品コード isol0005
物質コード なし
- 1.2 会社／企業の名称
会社名: L' Isolante K-Flex s.p.a
所在地: via Don Locatelli 35 20040 Roncello (MI) - Italy
電話: +39 039 68241
ファックス: +39 039 6824560
- 1.3 緊急時の連絡先
会社名: 株式会社 フカガワ
電話: 048-257-3111

2. 組成／成分情報

- 本品は発泡ゴム(エラストマー系)である。
粘着材の成分は変成アクリル系である。
- 2.1 欧州指令67/548/EECに指定されている健康／環境有害物質
- | CAS番号 | EC番号 | 名称 | m% | シンボル | R-フレーズ |
|-------|------|------|------|------|--------|
| 該当せず | 該当せず | 該当せず | 該当せず | 該当せず | 該当せず |
- 詳細は15を参照
R-フレーズ全文は16.2を参照
- 2.2 地域の規定に準じた認定暴露限界値に従う物質、ただし欧州指令67/548/EEC(8を参照)には含まれていない物質
本品の物理的状態(フォーム、エラストマー系)に関しては、埃の許容限界値を持つ成分(水酸化アルミニウム、PVC)との関連性はない。
- 2.3 追加情報
本品は、Chemikaliengesetz(ドイツの法律)の§ 3 No.5と欧州指令1999/45/ECの付属書VIIに準拠している。

3. 危険性、有害性の要約

- 3.1 危険性有害性の要約 特別な危険有害性はない。
- 3.2 人体に対する重大な危険有害性 特別な危険有害性はない。
- 3.3 環境に対する重大な危険有害性 本品は非水溶性である。

4. 応急措置

- 4.1 一般的情報 なし
- 4.2 吸入した場合 該当せず
- 4.3 皮膚に付着した場合 正しく使用すれば特別な措置の必要はない。
- 4.4 目に入った場合 正しく使用すれば特別な措置の必要はない。
- 4.5 飲み込んだ場合 該当せず
- 4.6 医師へのアドバイス
症状 未入手
危険有害性 未入手
処置 未入手

5. 消火措置

- 5.1 適切な消火剤
本品には自己消化性がある。
火災周辺の状況に応じた消火を講じること。
- 5.2 安全性の理由から使ってはならない消火剤
本品には自己消火性がある。
火災周辺の状況に応じた消火を講じること。
- 5.3 本物質および調合、燃焼物から生じる特殊暴露有害性、発生するガス
火災時に発生する可能性があるガス: 一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素、微量の臭化水素、亜硫酸ガスおよびシアン化水素。
- 5.3 消火を行う者の保護

- 呼吸保護具を着用すること。
5.4 その他の情報
爆発ガスおよび燃焼ガスを吸い込まないこと。

6. 漏出時の措置

- 6.1 人体に対する注意事項 (8 人身保護具を参照) 特別な措置を必要としない。
6.2 環境に対する注意事項 (13 廃棄上の注意を参照) 特別な措置を必要としない。
6.3 清掃／除去方法 機械的に処理し、廃棄物を除去する。
6.4 追加情報 なし

7. 取り扱いおよび保管(基準に関しては、15、16を参照)

- 7.1 取り扱い
安全な取り扱いのための注意事項 正しく使用すれば特別な措置は必要ない
発火および爆発に対する注意事項 該当せず
システム設計上の追加注意事項 追加の注意事項無し
- 7.2 保管
保管用の場所と容器の要件 よく換気のきいた場所に乾燥した状態で保管する。
保管する場所の注意 強酸および酸化剤の付近を避ける。
その他の保管条件 なし
保管分類(ドイツ) VCI-LagerklassenkonzeptによるLGK-13
- 7.3 具体的な用途
配管の断熱材、タンク(工業用)、空気調節装置、暖房装置および衛生装置の断熱材。

8. 暴露防止／人身保護

8.1 暴露限度値(ドイツ)

CAS番号	名称	許容限度	備考
該当せず	該当せず	該当せず	該当せず

備考: 本品の物理、状態 発泡ゴム、エラストマー系)に関しては、埃の許容限界値をもつ成分(水酸化アルミニウム)との関連性はない。

8.2 暴露防止(職務上の暴露防止／環境上の暴露防止)

- 呼吸器の保護 該当せず
手の保護 該当せず
目の保護 該当せず
身体の保護 該当せず
保護衛生措置 休息前および仕事終了後に手を洗う。

9. 物理的および化学的性質

9.1 一般的情報

物理状態: 固体 色: 黒 臭気: 無臭

9.2 重要な健康、安全性および環境情報

- pH(供給値として): 該当せず 水溶液:pH7.0
沸点／沸騰範囲(°C): 該当せず
融点／溶融範囲(°C): 該当せず
熱分解温度(°C): >400
引火点(°C): 該当せず
可燃性(固体、ガス): 該当せず
自己発火性: 該当せず
発火温度(°C): 該当せず
酸化特性: 該当せず
爆発特性: 該当せず
下限爆発限界: 該当せず
上限爆発限界: 該当せず
蒸気圧: 該当せず
密度／容積密度: 40 -90 kg/m³
水中での溶解性: 不溶性
溶媒に対する溶解性: 該当せず
オクタノール／水分配係数: 該当せず
粘度: 該当せず
溶剤含有量: 該当せず

9.3 その他の情報

なし

10. 安定性および反応性

- 10.1 避けるべき条件／避けるべき物質
 避けるべき物質：強い鉱酸(硝酸、塩酸、硫酸、フッ化水素酸)、臭素、塩素、過酸化水素、アニリン、ベンゼン、クロロフォルム、フレオン11、燃料FAM、四塩化炭素、トリクロルエチレンおよびキシレン。
 試験結果によると、本品はこれら物質により中程度から強度の腐食を受ける。
- 10.2 危険有害な分解生成物
 火災時には下記が発生する可能性がある：一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素、微量の臭化水素、亜硫酸ガスおよびシアン化水素。
 特定条件下での燃焼では、その他の有毒物質の微量発生もありうる。
- 10.3 追加情報 なし

11. 有毒性情報

- 11.1 毒性検査
- 急性経口毒性／急性経皮毒性／急性吸入毒性
- | | |
|----------------------|------|
| LD50ラット、経口(mg/kg) | 報告なし |
| LD50ラット、経皮(mg/kg) | 報告なし |
| LC50ラット、吸入(mg/15min) | 報告なし |
- 刺激性
- | | |
|---------|------|
| 皮膚への刺激性 | 報告なし |
| 眼への刺激性 | 報告なし |
| 感作性 | 報告なし |
- 亜急性毒性、亜慢性毒性
- | | |
|----------------|------|
| 慢性毒性 | 報告なし |
| 変異原因性、催奇形性、発癌性 | 該当せず |
| その他の情報 | なし |
- 11.2 実務上の所見 なし
- 11.3 一般的注意事項 なし

12. 環境影響情報

- 12.1 生態毒性
- 水生毒性
- | | |
|-------------|------------------|
| LC50(魚類) | 報告なし |
| EC50(ミジンコ類) | 報告なし |
| IC50(藻類) | 報告なし |
| 下水道での作業 | 機械的に除去する(ゴミよけ格子) |
- 12.2 可動性
 本品は試験されたことがない。
- 12.3 消滅性のデータ(残留性および分解性)
 本品は試験されたことがない。本品は不水溶性である。
- 12.4 生態蓄積性
 本品は試験されたことがない。
- 12.5 その他の有害な影響
- | | |
|-----------|-------|
| オゾン層破壊性 | 報告なし |
| 光化学オゾン生成性 | 報告なし |
| AOX-ヒント | 適用されず |
- 12.6 その他の情報
- | | |
|-----------------|------|
| 化学的酸素要求量(COD) | 報告なし |
| 生化学的酸素要求量(BOD5) | 報告なし |
- 本品は非水溶性である。
 欧州指令76/646/EEC,80/68/EECの重金属および化合物にしたがう
 リスト I： 有機リン酸化合物、有機ハロゲン化合物

13. 廃棄時の注意事項

- ※ 欧州の法規制に準拠したものであり、日本国内においては国内法規制、各市町村条例に従い、正しく廃棄処理されるものとして下さい。
 一般的には、燃やしてはいけないゴミ、産業廃棄物となります。
- 13.1 製品／未使用製品
 欧州廃棄物カタログに応じた廃棄物処理
 廃棄物はその素性および特定の処理手順に基づいて分類されなければならない。
 下記の産業廃棄物コードは、我々の勧告としてのみ記載するものである。特定の場合に関しては、完結された、あるいは改定された内容とするべきである。
 廃棄物のタイプ 建築および取り壊し時の廃棄物

廃棄物の表示	断熱材およびアスベスト含有建築資材
EC廃棄物コード	17 06 01 および17 06 03 に記述されているもの以外の断熱材17 06 04
廃棄処理作業	D10地上で焼却
回収作業	R3 溶剤として使用されなかった有機物質の再生／再生利用 R5 無機物質の再生／再生利用

- 13.2 汚染された容器
 勧告 汚染した容器をできる限り空にし、適切に洗浄すれば再使用可能。
 勧められる洗浄剤 残留物は機械的に除去

14. 輸送上の注意事項

- 14.1 陸上輸送ADR/RID/GGVSE
 UN-No. : 製品の名称: -
 分類: 分類コード: -
 梱包タイプ: 危険警告ラベル: -
 注意事項: 法律で定められた危険物質ではない
- 14.2 海上輸送IMDG-CODE
 UN-No. : 製品の名称: -
 分類: 分類コード: -
 梱包タイプ: 危険警告ラベル: -
 注意事項: 法律で定められた危険物質ではない
- 14.3 航空輸送IATA-DGR
 UN-No. : 製品の名称: -
 分類: 分類コード: -
 梱包タイプ: 危険警告ラベル: -
 注意事項: 法律で定められた危険物質ではない

15. 規制情報

- 15.1 欧州指令に応じたラベリング
 危険のシンボル: 該当せず
 危険の表示: 該当せず
 ラベルに表示されるべき危険有害成分: 該当せず
 R-フレーズ: 該当せず
 S-フレーズ: 該当せず
 特定の調合用の特殊ラベリング: 該当せず
- 15.2 欧州内法規制(ドイツのみ)
 職業関連の規制: 該当せず
 大規模事故規制: 該当せず
 大気浄化に関する規制(TA Luft): 該当せず
 火災および爆発の危険性: 該当せず
- 水に対する危険有害性分類: VwVwSが定める水質への危険有害性はない。
 水質に有害な物質の取り扱いに対する連邦条例を遵守しなければならない。

16. その他の情報

- 16.1 保管(規定) 該当せず
 16.2 R-フレーズの全文 適用されず
 16.3 技術的な問い合わせ先
 会社名: 株式会社 フカガワ
 電話: 048-257-3111
- 16.4 上記情報は、当社(L'isolante K-FLEX srl)が現在有している知識に基づくものである。
 そのため上記情報は本品の特性または特定の用途への適合性を保障するものではない。